

若手起用 世代交代へ一歩

21世紀 最初の総会開く



第12号(2001)
編集・発行
にいがた映画塾
〒950-0086
新潟市花園2-3-2 飛鳥ビル
電話・ファクス
025-1248-9088



新年度予算などを決めた、映画塾の〇一年度総会。一月十三日、万代市民会館

役員枠 7人から13人に拡充

副代表、タオさん 井上さん

二十一世紀最初の年のにいがた映画塾の活動などを決める二〇〇一年度総会が一月十三日、万代市民会館で開かれ、総額百二十三万円の新年度予算や役員体制、活動計画などを全会一致で決定しました。役員体制は七人から十三人に拡充され、副代表にナシモトタオさんと、井上朗子さんが新たに選ばれたほか、新しく創設した「運営委員」に種橋美樹さん、渡辺典子さん、大橋健一さんらを選出。世代交代が一歩進みました。

午後三時半から始まった総会には大雪の中、会員三十一人が出席。まず議長にナシモトタオさん、副議長に井上朗子さん、書記に渡邊美香さん(シヤン)を選出。矢部孝男代表が、映画塾は実質三年目となる。この

「運営委員」を新設
〇一年度の役員の名前は以下の通り。カッコ内は新任、留は留任、役名は前職。
【代表】矢部孝男(留)
【副代表】笹崎隆(留)、長谷川幸枝(会
計)
【運営委員】福島春夫(新)、井上朗子(新)
【事務局長】五十嵐政人(留)
【会計】伊藤貴子(新)
【会計監査】堀浩橋(留)、種橋健一(新)

2001年度の活動計画

1. 第6期にいがた映画塾
2. にいがた映画塾通信NGの発行
3. 映画塾コム(ホームページ)の製作
4. 機材の収集、管理、貸し出し
5. 定期上映会「シネパン」の開催
6. ライブラリーの充実
7. 交流の促進
8. ラジオ番組の制作
9. 作品製作・プロデュース
10. 映画塾作品の外部上映、コンクール応募
11. 共催、関連事業
12. ウラバン(サロン上映会)の開催
13. 定期的活動
 - ・新会員の獲得と有料会員の増加を目指す
 - ・定例会を従来通り月2回開く
 - ・整理整頓、清掃を励行する
14. フリーマーケットなど予算捻出活動
15. NPO(非営利法人)化に向けての調査・研究

午後三時半から始まった総会には大雪の中、会員三十一人が出席。まず議長にナシモトタオさん、副議長に井上朗子さん、書記に渡邊美香さん(シヤン)を選出。矢部孝男代表が、映画塾は実質三年目となる。この

〇一年度の活動報告と、収入百七十七万円、支出百五万円の収支決算が会員の拍手で承認されました。役員体制は、矢部孝男代表、五十嵐政人事務局長、笹崎隆副代表、堀浩會計監査が残留、會計の長谷川幸枝さんが監査に移り、會計は伊藤貴子さん(4期)にバトンタッチされました。また規約改正が承認され、副代表がこれまでの

「法人化」へ検討開始

二人から三人に増員したほか「運営委員」というポストを創設、若干名起用することも決まりました。役員枠を増やすことについて五十嵐事務局長は「会員数が増える中で、多くの若手も映画塾の運営に携わってほしい」と説明。二〇代も含め五人が初代運営委員に決まりました。

承認された〇一年度活動計画のうち、新規事業は「NPO化に向けての調査・研究」と、サロン上映会「ウラバン」開催の二つ。映画塾のアイデンティティともいえるべき「映像講座の「第6期」の開催も決定。ただ開催時期や内容はまったく未定で、まずは定例会で詰め

重要なテーマ。活発な話し合いをお願いいたします。NPOとは、非営利法人のことで、会社と同じ法人格を持ち、ある程度の収益事業を行うものの、利益を追求しない団体のことです。五十嵐政人事務局長によると福祉、まちづくり、教育などの分野で県内には三十近いNPOがあり、全国では約二千団体あるそうです。映画塾のこれまでの活動は事実上、文化的NPOともいえるもので、焦点は「法人化」が必要かという点。メリットは、NPOとして

ていくことになりました。また前年度、七回行われ延べ五百六十人を動員した「シネパン」は「シネパン01(ゼロワン)」として継続。笹崎副代表が「やりたい人が企画を持ち寄って開催してほしい」と呼び掛けました。出席した会員からは「機材がいくらで借りられるのか分からない。価格表の作成を」、「6期の内容は、5期生の意見を生かすべき」、「月刊ウィンドに映画塾のコーナーを設けてはどうか」、「事務所ホームページが見られるようにしてほしい」など貴重な意見が出ました。

2000年度会計決算(表)

収入

Table with 4 columns: 項目, 当初予算額, 決算額, 内訳. Rows include 会費, ビデオ売上金, 機材使用料, リソグラフ使用料, etc.

注: 会費の内訳は、実際に振り込まれていない会員もあり、決算額と一致しない

支出

Table with 4 columns: 項目, 当初予算額, 決算額, 内訳. Rows include 家賃, 光熱水費, 通信費, 事務諸雑費, etc.

予算の解説

シナリオ講座で会費増

支出膨らみ初の100万円超

二十一世紀の映画塾がスタートした。〇一年度予算は前年度実績を踏まえ収入見込みを〇〇年度当初予算より二八%アップ。支出では矢部孝男代表の「持ち出し」是正として、専従手当も盛り込んだ。〇〇年度決算の報告と、新年度予算を解説する。

(NG編集長・星龍雄)

〇〇年度決算

【収入】当初予算を二十八万円も上回る百七十七万円。会費が当初の見込みより十三万円増えたことと、第五期映画塾で二十万円の剰余金が出たこと

とが大きい。ただ、会費増収はシナリオ講座の受講料から二十四人分、七万二千円の入金があったため、積極的な意思に基づいて会費納入は会員約三百人のところ、五十人程度しかなかった。

このほか、未収入金として第五期映画塾の受講生が卒業制作で個人負担したフィルム代の立て替え分やシナリオ講座のコピー使用料、インディ

の売り上げは、当初見込みを大幅に下回った。機材使用料も会員の制作減で振るわず。上映会(シネパン)収入がゼロなのは、年度途中で独立採算性にすることになったため。フリーマーケットは二回行い、見込みを大幅に上回る売り上げがあった。

【支出】当初予算を十の倍以上となり大幅な支出増となった。消耗品も映写機のランプが頻りに切れたことや、コピー機

矢部代表への専従費を新設

〇一年度予算

【収入】「コイチ、ニサン」、百一十三万円の収入を見込む。会費は七十五人からの納入を予定。特に年一万二千元会員、同六千元会費を増やすことを見込んでいる。機材使用料は映像制作の活発化を願い強気の三万円。なお、機材使用料は修理費にも満たないことから引き上げる予定。コピー使用料とリソグラフ使用料を新たに設けた。映画塾主催事業以外

【支出】新たに「専従手当」十二万円を新設した。矢部孝男代表に支払われる。矢部代表が外部機関・団体などと交渉した際、これまで持ち出しだった電話代、交通費などの補てん。月額では一万円となる。新年度は矢部代表が事実上、専従の役割を担う。家賃、光熱費、電話代は前年実績に合わせた。通信費は「NG」の手渡しを増やし節約。事務諸雑費は無駄を切りつめ減額。消耗品も映写機ランプが切れないことを願って減額。前年度実績ゼロだった書籍費は据え置き。リソグラフの映画塾主催負担は四万円、コピーは二万円となる。事業費は、ラジオ制作費が月五千元と、前年度より倍増させたほか、新事業「ウラボン」にも年三千元を拠出する。有志が折半している駐車場代への補助三万六千元は廃止。懸案だった県内外の各種団体との交流を活発にするための「旅費助成」は今回も見送られた。

会員限定 お座敷上映会

「ウラバン！」スタート!

映画塾会員限定の上映会「ウラバン！」が一月二十日、スタートしました。毎月第三土曜日に行い、普段映画館では見られない自主映画やビデオなどを上映します。

「ウラバン！」は、定期上映会「シネパン」の裏バージョン。イベント性の強いシネパンとは別に、もっと会員の親ほくを深める場がほしいという声にこたえ、映画塾事務所で会員限定の上映会を開くことになりました。

上映作品は、会員の作品のほか、市販やレンタルビデオなど、「この作品を見てほしい」というものなら何でもOK。会員がビデオを持ち寄り、上映、終了後は映像制作の悩みや質問、近況などを自由におしゃべりしま

裏ハハ
ウラバン

第2回 2月17日
第3回 3月17日
第4回 4月21日

上映作品は事務所の掲示板を確認して下さい。またはメールで直接お知らせします。申し込みは映画塾コムからどうぞ!

す。定例会より気楽な集まりを目指します。ふだん映画塾には行きづらいという会員も、友人を誘ってぜひ来て下さい。上映作品は事前申請で

上。ビデオのレンタル料金や、作家などから借り郵送料は映画塾で負担します。

一月二十日午後七時半

から行われた第一回目は、星龍雄さんの企画で東京の映像作家、山崎敬司監督のビデオ作品「マンガくん」が上映されました。約二十人が集まり、ポツポツコーンやポテトなどが持ち寄せられ、友人宅でレンタルビデオを見る雰囲気。会員だけの気安さからか、「すごい、共感できる」という意見から、「つくり込みすぎ」などの反論までさまざま

2001年度会計予算(表)

収入		内 訳	
項 目	予算額		
会 費	630,000	24,000 × 10	12,000 × 15
		6,000 × 20	3,000 × 30
ビデオ売上金	2,000		
機材使用料	30,000		
リソグラフ使用料	80,000	2円 × 4万枚	
コピー使用料	100,000	10円 × 1万枚	
インディーズ残金	40,000		
フリーマーケット	88,000		
繰越金	251,400	2000年度繰越金115,341	未収入金136,059
その他	8,600	飲み会残金	駐車場使用料
		貯金利子	
合 計	1,230,000		

支出		内 訳	
項 目	予算額		
家 賃	300,000	25,000 × 12カ月	
光熱水費	120,000	10,000 × 12カ月	
通信費	108,000	NG90円 × 5回 × 230人 = 103,500	宅急便4,500
事務諸雑費	47,000	灯油、トイレトパーバ	一、文房具
電話代	120,000	10,000 × 12カ月	
ホームページ	48,000	4,000 × 12カ月	
消耗品費	22,500	ランプ修理代、紙代	
書籍費	8,000		
リソグラフ費	120,000	10,000 × 12カ月	
コピー使用料	120,000	10,000 × 12カ月	
ビデオ編集費	1,000		
出品料	12,000		
連盟会費	10,500	県アマチュア映像連盟会費	
事業費	63,000	ラジオ番組制作費5,000 × 12カ月、ウラバン事業費3,000	
専従手当	120,000	1,000 × 12カ月	
事務費	10,000	新潟県アマチュア映像連盟懇親会費、フリマ参加費	
合 計	1,230,000		

インディーズ 2日間で240人が来場!

十一月十二、十九の両日開かれた、「にいがたインディーズムービーフェスティバル」あんたの映「4」写真。今年も盛りだだったのがちよつと残念

光や色合い 評判が高く

佐藤監督は、「誰かが見た夢のような映画を狙った。牛腸茂雄さんの写真が、牛腸しか人間関係が分からない私的な世界なのに私たちとも関係があるように見えて来るといふ不思議な世界。映画もそんな作品にしたかった」とあいつつした。

シネパン2000

販売(千五百円、税別) 渇市民芸術文化会館スタジオBにて、「記憶の記録」「毛布」「うれい、着ぐるみ」「ダイアローグ」の四作品を上映しました。井上の映画の常連出演者である江村隆芳氏を上映実行委員会

の皆さん、そして映画塾スタッフの心強い協力のもと、希望の上映会が実現できました。評判上々な作品が揃った「シネパン2000」は、今年も盛りだだったのがちよつと残念



収入は四十一万五千九百六十円。支出は三十七万二千九百七円。差し引き四万三千五百三十三円の黒字でした。このうち三万円が映画塾の会計に充当されます。

今年度のインディーズは、単に内輪の作品を見るだけでなく、純粋に上映会を楽しむにしたい。多くのお客さんが作品による観客数の偏りもなく、入退場自由で興味のある作品を選んで見られる、というこのシステムがフルに活用された上映会となった。そして、人と人が出た。そして、人と人が入った。会場は常に満席だった。

県外からも多くの出品があり、出品者に常連も増えた。今回はなんと！映画「月とキャベツ」「死者の学園祭」でおなじみの篠原哲雄監督が講師を務めるENBUゼミの教えの作品も引寄せられて、今後上映予定がなく、ここでしか見ることのできないこの篠原作品は、事実上、目玉作品となった。

監督は当日来場！がこの上映会の条件だが、残念ながら仕事の都合で、会場に篠原監督の姿を見ることはできなかった。しかし、篠原監督からはビデオレターを頂き、上映した。

各作品の監督が各地から大勢集まる中、今回も交流の時間と場が設けられなかった。それが残念。(渡辺典子)

「スクールデイズ」山形上映であいさつする右から主演の佐藤直樹さん、撮影の佐藤広一さん、石川浩之監督、助監督の庄司樹さん＝山形フォーラム



山形で劇場公開「スクールデイズ」石川浩之監督

昨年十一月、拙作「スクール・デイズ」(一六分、四十分)がロケ地・山形市の山形フォーラムにて公開となり、監督をした私も舞台あいさつに行つて参りました。その映画館はかつて頻りに足を運ぶ映画の勉強をさせてもらったいわば聖地なので、感無量でありましたが、あいにく初雪が降るなどして客足が心配され、プレッシャーの方が大きくもありません。しかし地元の方々のご協力のおかげで通常の単館系映画の二倍近くの間、反応も多種多様な来場者を動員し、上映期間の一週間を無事終了いたしました。客層は普段映画館に足を運ばない方が多く、

「FC」という言葉が、全国の感度の高い自治体に注目されている。FCとは、「フィルムコミッション」の頭文字。映画、ドラマのロケで、撮影候補地を探したり、警察や消防署など各種届け出を代行するなど、撮影をスムーズに進める地元受け入れ団体のことだ。男委員長)を発足、知名度が高まった。既に横浜市や神戸市、北九州市などでFCが設立され、全国に広がっている。新潟で映画塾も、新潟県内で映像制作の環境を整備することを目標に掲げ、映画・映像は地域を生き生きとさせたい。観客の視点の重要性を痛感させられました。(石川浩之)今後の上映予定/三

山形で劇場公開

「スクールデイズ」

石川浩之監督

新潟ロケ 手応えと試練



篠原P.V 映画塾が協力

映画塾は二〇〇〇年度、新たな一歩を踏み出しました。プロの映画監督がつくる作品の制作協力です。十月に篠原哲雄監督のP.V(プロモーションビデオ)、十一月には三池崇史監督作品「ビクターQ」が相次ぎ新潟で撮影が行われ、会員が地元スタッフとして全面協力しました。逆に映画塾の協力があるからこそ新潟ロケが実現した二企画。まとめ役の矢部孝男代表からレポートしてもらいました。(会員敬称略)

この「ビクターQ」、一家族が中心の話で家一軒がほぼ全編の舞台となるのだが、東京で適当な物件が見付からないと。電話の二日後には担当プロデューサーが新潟にやって来て一緒に物件探しをしたら候補が三軒出てきた。舞台の家は豊栄市早通の空家を使い、その他の細かい場面は新潟駅前、弁天公園、豊栄駅、阿賀野川河川敷などで撮影した。撮影期間は一週間。映画塾からは二十人以上の会員が関わってくれた。クラウンの二週間前から家財道具を運び込んだり、撮影期間中は三池組の一員としてフル稼働。撮影後の撤収も同じだった。篠原組は、スタッフが少人数で、山田プロデューサーという自主映画の理解者がいたこともあり、現場は自主の現場のようだった。一方の三池組はひたすら職業としての映画づくりに、つまり監督を頂点としたピラミッド型の組織に、人手を組み込んで進めていくというものだった。実際、映画塾スタッフにとっては大変な現場だった。しかしプロの映画現場は、三池組のような集団がスタンダードな制作体制だ。映画塾はこれからも、劇場映画制作に関わっていくことになるだろう。今後、プロ集団とどう付き合っていくかが今年の課題の一つだと思ってる。(矢部孝男)



「FC」という言葉が、全国の感度の高い自治体に注目されている。FCとは、「フィルムコミッション」の頭文字。映画、ドラマのロケで、撮影候補地を探したり、警察や消防署など各種届け出を代行するなど、撮影をスムーズに進める地元受け入れ団体のことだ。

「にいがたFC」の可能性は

欧米を中心に、二十三国、約二百六十団体、多くは自治体も加わった非営利団体だ。日本では昨年、映画や国の関係者が「FC設立研究会」(佐藤忠男委員長)を発足、知名度が高まった。既に横浜市や神戸市、北九州市などでFCが設立され、全国に広がっている。新潟で映画塾も、新潟県内で映像制作の環境を整備することを目標に掲げ、映画・映像は地域を生き生きとさせたい。観客の視点の重要性を痛感させられました。(石川浩之)今後の上映予定/三

wakwak.com/harukaze/index.html メイキングビデオは映画塾ライブラリーにて貸出中。

会員募集!

映画館やレンタルビデオでもめったに見られないドキュメンタリー映画の名作をみんなで見ませんか?
「新潟ドキュメンタリー映画を見る会」では、会員を募集しています。

特典

奇数月第4土曜日の定期上映を見ることができます。
上映作品の選定に参加できます。
フィルム代などの運営費として、毎月1,000円ずついただきます。半年分前納の場合は5,000円です。
入会お申し込み・お問い合わせは、カフェ&居酒屋「鳥の歌」まで。電話・ファクス025-228-3080(早津)月~土 午後6時以降にお願いします。

奇数月の「見る会」が発足

第4土曜上映

「新潟ドキュメンタリー映画を見る会」は、これまで「見る会」を結成して、毎月1,000円ずついただきます。半年分前納の場合は5,000円です。入会お申し込み・お問い合わせは、カフェ&居酒屋「鳥の歌」まで。電話・ファクス025-228-3080(早津)月~土 午後6時以降にお願いします。

「見る会」は、これまで「見る会」を結成して、毎月1,000円ずついただきます。半年分前納の場合は5,000円です。入会お申し込み・お問い合わせは、カフェ&居酒屋「鳥の歌」まで。電話・ファクス025-228-3080(早津)月~土 午後6時以降にお願いします。

にいがた映画塾に「夢のある学校」ドキュメンタリービデオ制作を依頼した「子供の夢が育つ学校づくりプロジェクト」は二月十日(土)、新潟市のユニゾンプラザでシンポジウムを開きます。ビデオ制作の途中経過を報告するとともに、本県の学校教育について考えるイベントです。

「夢ある学校」考える

シンポジウムは、ビデオ制作の途中経過を一般市民に報告、学校教育について考えるとともに、一口一万円の制作費カンパを募るのが狙い。当日は午後一時半開演、ビデオ予告編上映後、清水さんをコーディネーター

2月10日シンポジウムビデオ制作報告も

に、聖籠町教委指導主事の山口和治さん、豊栄市太田小学校長の金子玲子さんら教育関係者によるシンポジウムを行います。また映画塾からは、中心スタッフの笹崎隆さんやプロデューサーの五十嵐政人さんらも参加します。

ドキュメンタリー名作を

「見る会」が発足

ラジオ番組

2年目突入

早いもので昨年の十二月で二年目の放送に突入した「シネマで愛した」。

「シネマで愛した」は、FM新津76.1MHzで毎週日曜日午後五時から放送中。再放送は水曜日午後二時。映画塾コムでも聴けます。

シナリオ講座 力作続々 大賞は渡辺貴子さん

卒制コンテスト

にいがたシナリオ講座がた映画塾主要スタッフ受講生の皆様、過酷なスによる厳正な審査の結果、大賞(賞金二万円)ケジュールの中、卒制コンテスト(賞金二万円)ンペに力作の御応募有難は渡辺貴子さんの作品うございました。受講生「夢の島ドリーム」に決二十四人のところ、十九人定しました。シナリオの形式をしっかりと踏まえ、このほか、みずみずし

「夢の島ドリーム」に決二十四人のところ、十九人定しました。シナリオの形式をしっかりと踏まえ、このほか、みずみずし

「夢の島ドリーム」に決二十四人のところ、十九人定しました。シナリオの形式をしっかりと踏まえ、このほか、みずみずし



inoutプレゼンツ
大友克洋オールナイト

日時 2001年3月24日(土) 午後11時開場予定
会場 新潟・市民映画館シネ・ウインド
料金 当日3000円(前売り2500円)
問い合わせ先 inout
電話・ファクス025-243-5653(不在の場合は折り返し連絡をします)

AKIRA、老人Z、MEMORIES

3月に大友克洋特集!

大友克洋新作「スチート!」の上映を控がスクリーンにのみがえ、新世紀にinoutからBIGなプレゼン

「スチート!」の上映を控がスクリーンにのみがえ、新世紀にinoutからBIGなプレゼン

第6期 始動!

第6期映画塾の実行委員会が一月二十三日発足、第一回会議を行いました。今後、週一回のペイスで話し合いを行います。火曜日午後八時から、特に第5期OB、OGのみ参加して下さい。こまごまの話し合いは、これまでの日曜日午後ではなく、土曜日夜に開催する案が浮上。五月スタートが有力です。いろいろな意見を取り入れて充実したものになりたいと思います。

「再生」という旧世界のレプリカから出発しなければならなかったレジスタント達、そして私達の選べる未来とは...

DIARY

(00年10月17日～01年1月28日) は関連・協力事業

- 10月
 - 17日 NG 第11号発行 映画塾コム、アクセス2万件突破 第25回定例会
 - 20日 井上朗子の映画上映会(27日も、新潟市芸文会館)井上全作品を上映
 - 22日 「Cinemaで愛して!」第47回 ゲスト・品田竜輔、佐山睦美
 - 29日 「Cinemaで愛して!」第48回 ゲスト・堀浩、駒形千夏
- 11月
 - スカイパーフェクTV番組の製作
 - 4日 三池崇史監督が「ビジター-Q」新潟ロケ入り。映画塾が製作全面協力
 - 5日 「Cinemaで愛して!」第49回 20世紀特集・映画の誕生(田巻源太)
 - 7日 第26回定例会
 - 12日 にいがたインディーズ・ムービーフェスティバル前半(イベントホール・ナイト、104人)第5期作品など上映 「Cinemaで愛して!」第50回 20世紀特集・ドキュメンタリー映画(駒形千夏)
 - 14日 NG 第11号増刊発行
 - 17日 ハイロシネマフェスト(東京渋谷・アピア)井上朗子「ダイアログ1999」上映
 - 18日 石川浩之「School Days」が劇場一般公開(山形市・山形フォーラム 24日まで)
 - 19日 にいがたインディーズ・ムービーフェスティバル後半(シネ・ウインド、138人)一般応募作品など上映 第5期記録集「息切れ」発行 「Cinemaで愛して!」第51回 20世紀特集・人間ドラマ(堀浩)
 - 21日 第27回定例会
 - 26日 「Cinemaで愛して!」第52回 20世紀特集・SF映画(堀浩)
 - 28日 第25回定例会(臨時)新年度総会話し合い
- 12月
 - ビデオ「黒埼役場百年の歩み」製作協力
 - 3日 「Cinemaで愛して!」第53回 20世紀特集・新潟の映画館前編(星龍雄)
 - 5日 第29回定例会
 - 10日 「Cinemaで愛して!」第54回 20世紀特集・新潟の映画館後編(星龍雄)
 - 12日 第30回定例会(臨時)新年度総会話し合い
 - 13日 シネバン2000Vol.18「佐藤真・SELF AND OTHER S特別試写会」(新潟市民芸術文化会館、150人)
 - 17日 「Cinemaで愛して!」第55回 20世紀特集・映像技術(田巻源太)
 - 20日 第31回定例会
 - 23日 大掃除・忘年会(事務所)
 - 24日 「Cinemaで愛して!」第56回 20世紀特集・映画監督(堀浩)にいがたシナリオ講座作品集発行
 - 26日 第32回定例会(臨時)新年度総会話し合い
 - 31日 「Cinemaで愛して!」第57回 ゲスト・星龍雄、ナシモト・タオ、渡辺典子、吉田健明(電話出演 手塚真、篠原哲雄)
- 1月
 - 7日 「Cinemaで愛して!」第58回 グルメ映画の巻(五十嵐政人、堀浩)
 - 9日 01年度第1回定例会
 - 13日 01年度総会(万代市民会館) 新年会(赤たぬき駅前店)
 - 14日 「Cinemaで愛して!」第59回 SF映画の巻(五十嵐政人、堀浩、矢部孝男)
 - 16日 第2回定例会
 - 20日 会員限定上映会「ウラバン!」第1回
 - 21日 「Cinemaで愛して!」第60回 原作のある映画の巻(駒形千夏)
 - 23日 第6期映画塾スタッフ会議発足
 - 27日 新潟ドキュメンタリー映画を見る会 第1回上映会(万代市民会館)
 - 28日 「Cinemaで愛して!」第61回 お正月映画見た?の巻(堀浩)

表彰状を受け取り会場の拍手に包まれる木原大吾さん(中央)



木原さんが入選

崇とその仲間たち 神奈川コンクールで

映画塾コム NEWS ダイジェスト

木原大吾さんの第4期映画コンクール作品「崇(たかし)とその仲間たち」が、第二十二回神奈川県コンクールで入選、一月八日に横浜レクチャールホールで表彰・上映されました。

同コンクールは、神奈川県などが主催する映画祭。審査委員長はあの、大島渚監督です。木原さんの作品は、ろう重複障害者が働く、あさひ共同

「このほか、五十万円の賞金が贈られる最優秀賞は千葉県・木村文昭さん

た。このほか、五十万円の賞金が贈られる最優秀賞は千葉県・木村文昭さん

の「ホームへ帰る」。十

万円の優秀賞は、昨年

にいがたインディーズ・

フェスティバルでも出品

があった、東京の山岡大

祐さん、「バ力は死なな

きや治らない」などが輝

きました。

十二月二十四日

忘年会に30人集合

映画塾の大掃除&忘年会

が二十三日開かれ、忘年

会には約三十人が集まり

ました。種橋美樹さんが

シエフ長、関谷洋美さん

や豊島裕之さんが助手に

なり、おでんやもつ煮

込み、寄せ鍋、ポテトサ

ラダ、鳥の唐揚げ、ピザ

トーストなどなど、豪華

な食事が並びました。ま

た、手作りのクリスマス

ケーキも登場。十二月生

まれの渡辺典子さんや、

伊藤貴子さんのパースデ

イケーキにもなりまし

た。

十一月二日

二十世紀映画館開設

た映画館を紹介する仮想

博物館です。協力者を募

集中! 詳しくは映画塾

コムからアクセスして下

さい。

01年度会費納入を!

2001年度がスタートしました。会費納入をお願いします。映画塾は会員の皆さんの会費で支えられています。活発な活動を維持するためにも、0円会員の人もぜひ会費をお支払い下さい。

会費 年6000円、同12000円、同24000円、同3000円のいずれかから選べます(郵便口座から毎月の自動引き落としもできます)

払い込み先 現金を映画塾役員に支払うか、下記の口座に振り込んで下さい。振込先の名義はいずれも「にいがた映画塾」です

郵便振込口座 00680-4-18088

銀行振込口座 第四銀行本店営業部 2199451

会員特典 「映画塾通信NG」が送られてきます
映画・映像機材を低額で借用できます 映画塾事務所を打ち合わせなどで利用できます 映画・映像制作の相談を受けられます。

詳しい手続きは電話かメールでおたずね下さい。

お問い合わせ

電話025-248-9088(映画塾・矢部)

Eメール mail@n-eigajyuku.com

編集後記

冬の新潟はちよつと
まったり気味。一月から
始まった「ウラバン!」
で、熱い思いをしません
か? 二月十七日は「パ
カ映画」特集の予定。
【編集スタッフ】星龍
雄【題字】宮川直子

にいがた映画塾
お問い合わせ等はこちらへ!

〒950-0086 新潟市花園2-3-2飛鳥ビル
電話・ファクス 025-248-9088
電子メール mail@n-eigajyuku.com
映画塾コム www.n-eigajyuku.com